

旧曾呂小学校の跡地活用について(案)

1 これまでの検討会議を踏まえた現時点での考え方について

これまでの会議では、市民ギャラリーと曾呂公民館の機能を旧曾呂小学校へ移転するという計画を示させていただきましたが、2回の会議を踏まえ、基本方針はこの枠にこだわらず、市民ギャラリー機能を含むアート活動や、その他の様々な役割を併せ持つ複合施設としての計画を考えることといたしました。

ただし、下記の基本理念に基づいた中での新たな計画を策定することとし、第3回会議では、下記の基本方針を議題として委員皆さんの意見を伺うこととさせていただきます。

2 基本理念

- (1) 社会教育施設及び文化施設としての活用
- (2) 地域コミュニティの場としての活用
- (3) 複合的な活用
- (4) 将来を見通した中・長期的な視野に立った活用
- (5) 既存の校舎等の有効活用
- (6) 民間活力を生かした施設

3 基本方針

「アート活動を中心に、CAFE、コミュニティスペースなどの機能を併せ持ち、子育て世代や高齢者など多くの人が集う複合交流施設」

(1) アート活動

- ①作家の滞在による制作活動（市民との交流）（鴨川をテーマに）
- ②市内在住作家の作品展示・作家紹介（主催事業）
- ③芸術系大学との連携事業（タイアップ）、若い作家の支援策
- ④ビエンナーレやトリエンナーレなど定期的な展覧会の開催
- ⑤アトリエでの創作活動
- ⑥貸しギャラリーの役割
- ⑦常設展示
- ⑧ギャラリー支援者の組織化と育成

(2) コミュニティ機能

- ①育成会や子ども会の活動の場・バーベキュースペース等
- ②コミュニティスペース（多目的室）
- ③児童公園、ウッドデッキの整備（親子で楽しめる施設）
- ④NPO 法人の事務所機能
- ⑤フリースペース（たたみの間）
- ⑥子どもルーム（おもちゃ、遊具）
- ⑦ラウンジ（飲食スペース）
- ⑧農産物やアートグッズなどの SHOP
- ⑨CAFE
- ⑩宿泊施設、温泉施設（曾呂温泉の活用）
- ⑪図書資料室

(3) 地域の歴史や文化の活用

- ①水田三喜男関連・嶺岡牧・旧曾呂小学校等を巡るハイキングコース等の設定
- ②曾呂小学校の歴史と記憶を後世に残す（校舎内の一角を郷土史コーナーに）

(4) 防災拠点、避難所機能

- ①食料、水、毛布の備蓄
- ②避難所キットの整備

4 運営管理に関する検討事項

第4回会議で意見交換

- ・運営者（ギャラリー・公民館） → 市が直接運営
- ・運営者（農産物直売所） → 民間企業
- ・スタッフの配置（館長、学芸員、コーディネーター等） 必要な職員数4名以上
- ・ギャラリー支援者の組織化と育成（再掲）
- ・人材登用（地域おこし協力隊の活用）
- ・指定管理者制度の導入
- ・施設使用料の設定（貸しギャラリーは無料 or 有料）（公民館部分は無料）
- ・施設のネーミング（愛称）設管条例とは別に定める
- ・郷土資料館との役割分担の明確化

5 ハード面での整備に関する事項

第4回会議で意見交換

- ①長谷川昂彫刻展示
 - ②山谷鋏一絵画等、市の収蔵美術品の展示
- ・水田三喜男コーナー・牟田口ルームを設置するか

- ・展示室の壁面は、4面使用できるようにするか（窓をふさぐ）。
- ・展示用照明設備の設置（LED）
- ・建物の入口 職員玄関 or 昇降口
- ・バーベキュー広場
- ・校舎内の土足化
- ・児童公園の整備
- ・ウッドデッキ
- ・大型観光バスが入れるような外構工事
- ・グラウンドの駐車場整備
- ・バリアフリー化・エレベーターの設置等
- ・幼稚園舎の活用
- ・雨漏り対策工事（屋根・壁）
- ・案内サインの設置（屋外、館内）